

AI 技術の適正な活用に係る環境整備について

《提案・要望の内容》

- 近年、AI 技術が急速な進展を見せ、特に生成 AI については、分野を問わず新しい価値の創出に寄与することが期待されている一方で、機密情報の漏えいや著作権侵害、偽情報の拡散等の懸念のほか、民主主義や地方自治において主権者が有する役割を損なうことが危惧されるなど様々な課題がある。国において、活用と規制の両面から、信頼できる AI に向けた適切なルールの設定等を早期に行うこと。

【参考】鳥取県の AI 技術活用に係る現状

- 職員がコントロール可能な AI 技術を導入（活用中）
 - ・AI チャットボット（質問認識：自動回答）
 - ・AI 音声認識議事録作成支援（音声認識：テキストデータ変換）
 - ・AI-OCR（文字認識：テキストデータ変換）
- 生成 AI への対応
 - ・議会答弁、予算編成、重要な政策策定について、職員の使用を禁止
 - ・「鳥取県庁 AI 技術活用ワーキングチーム」を設置。適正な活用に向けた協議を開始
 - ・ガイドライン策定（生成 AI の活用を安全な範囲に限定）の上、暫定利用を開始予定（7月中旬）
- 今秋、各分野の有識者で構成する「先端技術と民主主義のあり方等を考える研究会」を設置し、自治体としてデジタル社会の進展にどう向き合うか等について研究を進める予定